

2022年度 京都橘大学における研究倫理教育の実施について（通知）

京都橘大学 研究倫理教育委員会

本学における研究倫理教育を、以下の通り実施します。該当する者は下記の制度を十分に確認のうえ、遵守していただきますよう、よろしくお願ひいたします。

I. 本学の研究倫理教育について

1. 研究倫理教育の提供を受ける対象者について

- (1) 本学に所属している専任教員
- (2) 本学に在籍している大学院生
- (3) 本学に所属し、公的研究費の運営、管理に携わる事務職員（有期雇用契約者を含む）
- (4) その他、本学が必要と認めた者

2. 2022年度実施の研究倫理教育について

(1) APRIN e-learning コース（一般財団法人公正研究推進協会）の受講について

上記1の対象者は、研究倫理教育を受講しなければなりません＜全員受講義務＞。

本学では研究倫理教育として「APRIN e-learning（以下、APRIN）」を提供しています。

専任教員、大学院生はAPRINの受講を必須としていますので、受講方法・コース等を「表1」、「表2」、「表3」で確認のうえ、全員必ず受講してください。

※2021年度までにAPRINを受講した方は有効期限をご確認ください。APRINの有効期限は、各コースの全単元を修了した年度を含む5年度です（詳細は「II. 3. 受講期間および有効期限について」参照）。

※研究倫理委員など、職務との関係により受講義務が生じる場合がありますので、ご注意ください（詳細は「I. 4. 職務との関係による受講義務について」参照）

※新規でコースを受講する場合、過年度の受講歴は引き継ぎません。

※他機関からの転入者も本学でAPRINを受講してください。他機関で研究倫理教育を受講している場合、受講内容を勘案のうえ、転入年度はAPRIN受講を免除することができます（詳細は別途確認すること）。

(2) 研究倫理申請説明会の開催について

研究倫理委員会への申請を考えている方（希望者）は、研究倫理申請説明会に参加してください。

日 時：2022年5月25日（水） 17:10～18:10（予定）

対象者：研究倫理委員会への申請を考えている方（教員、大学院生のうち希望者）

内 容：本学研究倫理委員会への申請方法 など。

3. 各種申請時における要件について

- (1) 本学の研究倫理委員会の申請者は、申請時にAPRINの修了証を提出してください。
- (2) 科研費等公的研究費申請者は申請時に、また、採択者は交付内定時にAPRINの修了証を提出してください。なお、JST等では別途、所定コースの追加受講が求められる場合があります。
- (3) 民間等外部資金申請者・採択者は、申請時および採択時にAPRINの修了証を提出してください。なお、応募条件は助成団体の募集要項にしたがってください(eL CoRE受講が必須となる場合もあります)。
- (4) 本学における学内研究助成の申請者は、申請時にAPRINの修了証を提出してください。

4. 職務との関係による受講義務について

- (1) 研究倫理委員会委員(新委員のみ/外部委員除く)は「2022年度研究倫理委員」を受講してください。
- (2) 動物実験委員会委員(新委員のみ/外部委員除く)は「2022年度動物実験委員」を受講してください。
- (3) 公的研究費に携わる事務職員(新任職員のみ)は、「2022年度事務職員」を受講してください。
- (4) 研究倫理委員会や動物実験委員会の外部委員は、必要に応じて任意でeL CoREを受講してください。

II. APRINの受講方法について

1. APRINへのログイン方法について

- (1) 本学ホームページ(トップページ→「研究・生涯学習・産学公地域連携」→「研究活動」→「研究活動の公正な実施について」→「公正研究・研究倫理に関する取り組み」)の「5. APRIN e-learningによる研究倫理教育」「▶APRIN e-learningコースはこちら」からアクセスしてください。
- (2) 管理者より通知された[ユーザー名(ID)、パスワード]でAPRINにログインしてください。詳細は「APRIN受講者マニュアル」でご確認ください。

ユーザー名(ID): ktu+大学のメールアドレス@より前部分。

Ex. aidueo@tachibana-u.ac.jpの場合、ユーザー名は ktuaiueo

パスワード: 初期パスワードをメール送信しています。不明の場合はパスワードを再設定すること。

2. 受講方法およびコースについて

- (1) 受講するコース・単元を「表1」「表2」「表3」で確認して、受講期間中にコースに含まれるすべての単元を受講し、コースを修了してください。一部単元のみ受講し、コース未修了のまま受講期間を終えると、既に受講した単元は無効となり、次の受講期間に再受講が必要となりますのでご注意ください。
- (2) APRINから単元追加の指導があり、本学研究倫理教育委員会が追加受講の必要性を認めた場合、改めて通知を行いますので、必要な単元を受講してください。なお、その場合の有効期限は当初の期限から延長しません。

3. 受講期間および有効期限について

(1) 2022 年度の受講期間は下記の通りです。必ず期間内にコースを修了してください。

2022 年度受講者 : 2022 年 3 月 1 日 (火) ~2022 年 8 月 31 日 (水)
(有効期限 : 2027 年 3 月 31 日)

※ 2022 年度新任教員は、上記期限までに必ず受講してください。

(2) APRIN の有効期限は、各コースの全単元を修了した年度を含む 5 年度です（下記の通り）。

(例)	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度
2022 年度 APRIN コース受講*	1 年目 (受講年度) 2022.3.1～受講可	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目 (最終年度) 有効期限 ～2027.3.31

(3) 各コースの必須単元をすべて履修後（合格に必要なスコアは、1 単元 80% 以上）、修了証を各自で発行（ダウンロード）してください。前述「I.3」の各種申請時を除き、修了証を管理者に提出する必要はありません。また、受講者自身で、受講状況、成績管理、有効期限の確認を行ってください。

(4) APRIN の修了証には、受講コース名、受講単元、完了日、有効期限等が記載されます。

(例)

●コース カリキュラム修了証

所属機関 : 京都橘大学
姓 : 橘
名 : 花子
修了日 : 2022/04/02
修了証番号 : AP000000

単元名 完了日
公的研究費の取扱い 2022/04/01

有効期限 : 2027/3/31

※APRIN 修了証の受講コース名と有効期限を確認してください。

※コースの全単元を修了した場合、その受講（修了）年度を含む 5 年度を有効期限としています。

【問合せ先】 ※研究倫理教育に関してご不明な点があれば、下記までお問い合わせください。

京都橘大学学術振興課 担当 : 北川／成松／田村（内線 1709）

E-mail : kenkyu@tachibana-u.ac.jp

<資料>

表1 APRIN e-learning 受講コース (コース順)

コース名	単元	受講対象者
A : 2022 年度 人を対象とする研究	16	人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（以下、指針）に該当する研究。 主な対象：看護学部・健康科学部
B : 2022 年度 基本（人文・社会・その他）	5	人文・社会科学分野に該当する研究。その他、指針に該当しない研究。 主な対象：文学部・国際英語学部・発達教育学部・経済学部・経営学部
C : 2022 年度 動物実験に関わる研究	13	動物実験に関わる研究を行う者。 主な対象：健康科学部
D : 2022 年度 遺伝子組換実験に関わる研究	11	遺伝子組換実験に関わる研究を行う者。 主な対象：健康科学部
E : 2022 年度 理工系に関わる研究	7	理工系に関わる研究。 主な対象：工学部
2022 年度研究倫理委員	7	研究倫理委員会委員、研究倫理教育委員会委員（外部委員を除く）
2022 年度動物実験委員	3	動物実験委員会委員（外部委員を除く）
2022 年度事務職員	1	学術振興課、総務課、管財課、経理課、図書館課で公的研究費を直接取り扱う業務従事者。

※ 教員、大学院生はA、B、C、Eのいずれかのコースを必ず受講すること（受講必須）。

※ APRIN の有効期限は、各コースの全単元を修了した年度を含む5年度です。

表2 研究倫理教育受講要件 (学部順)

区分	主な対象	APRIN e-learning コース	申請説明会
専任教員	文学部・国際英語学部・ 発達教育学部・経済学部・経営学部	B : 2022 年度基本（人文・社会・その他）	希望者
	工学部	E : 2022 年度理工系に関わる研究	希望者
	看護学部・健康科学部	A : 2022 年度人を対象とする研究	希望者
	健康科学部	C : 2022 年度動物実験に関わる研究	—
	健康科学部	D : 2022 年度遺伝子組換実験に関わる研究	—
	研究倫理委員、研究倫理教育委員	2022 年度研究倫理委員	—
	動物実験委員	2022 年度動物実験委員	—
大学院生	文学研究科・現代ビジネス研究科	B : 2022 年度基本（人文・社会・その他）	希望者
職員	看護学研究科・健康科学研究科	A : 2022 年度人を対象とする研究	希望者
職員	公的研究費関連事務職員	2022 年度事務職員	—

表3 APRIN e-learning研究倫理教育プログラム（2022年4月1日現在）

領域	単元		本学コース設定					委員会委員／職員		
		英語	A	B	C	D	E	研究倫理 委員	動物実験 委員	事務職員
			人を対象とする研究 ／基本	人文・社会 ／基本	動物実験	遺伝子組 換	理工系			
		49	16	5	13	11	7	7	3	1
責任ある研究行為	共通単元	責任ある研究行為ダイジェスト	○					○必須	○必須	○必須
		公的研究費の取扱い	○	○必須	○必須	○必須		○必須		
	生命医科学系	責任ある研究者の行為について	○	○必須		○必須				
		研究における不正行為	○	○必須		○必須				
		データの扱い	○	○必須		○必須				
		共同研究のルール	○	○必須		○必須				
		利益相反	○	○必須		○必須				
		オーサーシップ	○	○必須		○必須				
		盗用と見なされる行為	○	○必須		○必須				
		社会への情報発信	○	○必須		○必須				
		ピア・レビュー	○	○必須		○必須				
		メンタリング	○	○必須		○必須				
	人文系	研究活動における不正行為	○		○必須					
		人文学・社会科学分野における盗用	○		○必須					
		共同研究とオーサーシップ	○		○必須					
		ピア・レビューと利益相反	○		○必須					
	理工系	研究不正	○				○必須			
		工学研究におけるデータの管理上の倫理問題	○				○必須			
		理工学分野における利益相反	○							
		責任あるオーサーシップ	○				○必須			
		理工学研究領域の論文発表とピア・レビュー	○				○必須			
		理工学分野における共同研究	○				○必須			
		研究者・技術者の社会的責任と告発	○				○必須			
		環境倫理	○							
		メンタリングとメンター、メンティー	○							
人を対象とした研究	生命倫理学の歴史と原則、そしてルール作りへ	○	○必須					○必須		
	研究倫理審査委員会による審査	○	○必須					○必須		
	研究における個人に関する情報の取り扱い	○	○必須					○必須		
	人を対象としたゲノム・遺伝子解析研究	○								
	研究で生じる集団の被害	○								
	研究におけるインフォームド・コンセント	○	○必須					○必須		
	特別な配慮を要する研究対象者	○	○必須					○必須		
	カルテ等の診療記録を用いた研究	○								
	生命医科学研究者のための社会科学・行動科学	○								
	国際研究	○								
	多能性幹細胞研究の倫理Ⅰ・Ⅱ	○								
	研究倫理審査委員会の委員に就任する際に知っておくべきこと	○						○必須		
実験動物の取り扱い	人を対象とする医学系研究	○								
	人を対象とした研究ダイジェスト	○								
研究の安全性	単元1：動物実験の基礎知識	○			○必須				○必須	
	単元2：動物実験の実施にあたり配慮すべきこと	○			○必須				○必須	
研究の安全性	バイオセーフティとバイオセキュリティの考え方					○必須				
	実験安全の基本	○				○必須				
	化学物質を使った実験	○				○必須				
	放射性物質の取り扱い	○				○必須				
	遺伝子組換え	○				○必須				
	血液由来病原体対策					○必須				
	実験室間接感染とバイオハザードのリスク評価					○必須				
	リスク管理	○				○必須				
	バイオサンプルの発送と受取	○				○必須				
	バイオテロリズム	○				○必須				
	バイオセキュリティ	○				○必須				

※ 「○必須」は受講を要する単元です。空欄はオプション単元です（任意受講。修了証発行の要件とはならない）。

※ 単元名は、一部省略しています。また、単元名は変わることがあります。